



[発行]一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会
 [県事務局]〒634-0061
 奈良県橿原市大久保町 320-11
 奈良県社会福祉総合センター内
 ☎ 0744-29-0150 Fax 0744-29-0151
 HP <http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>
 [発行責任者] 理事長 阪口 貴子
 [編集責任者] 有働 和美



目次

1 ごあいさつ

一般社団法人
 奈良県手をつなぐ育成会
 理事長 阪口 貴子

2 寄稿

奈良県特別支援学校長会
 会長 梅田 真宏 氏
 (奈良県立大淀養護学校長)

3 寄稿

社会福祉法人
 宝山寺福祉事業団
 児童発達支援センター仔鹿園
 岡本 とも子 氏

4~6

奈良県手をつなぐ育成会
 年次活動報告

7 新成人おめでとうございます

8 令和4年度賛助会員様 令和5年度予定 編集後記

ごあいさつ

理事長 阪口貴子

はじめに

2月6日、トルコ・シリア大地震が発生しました。死者が4～5万人以上と報道。氷点下のガレキの中から、幼い子どもの救出光景（飲料のキャップから口へ注がれる水を美味しそうに飲み干す幼児の笑顔）に心が救われました。多くの犠牲者の方々のご冥福を祈ります。人流により派生する国籍・民族での差別・偏見・誹謗中傷を許してはいけません。

ロシアのウクライナ侵攻から1年、終息は見えない状況です。多くの人道支援の中で、国連UNHCR協会（国連難民高等弁務官事務所）の活動（民族・宗教・思想・性別・国籍の違いを認め、人間の命と尊厳を大切に作る行動）にも敬意と共感を覚えます。

社会状況の変化、変革、時間対効果の中、これまで通りが当たり前でない事を知らされています。私たちは障がいのある子の親として、60年間の活動は、わが子のしあわせを願う親の姿に関係者の皆様の共感、支援と会員の皆様のボランティア力で続けて来られました。ありがとうございました。改選期につき、令和5年度は、新しい執行部体制となります。今後とも、ご支援よろしくお願いいたします。

今伝えておきたいこと

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会（全育連）の動き

- ① 北海道江差町の社会福祉法人「あすなろ福祉会」において同棲・結婚を希望する場合に不妊処置を入居条件化していた事案について12月に全育連の久保会長が声明文を出されました。それに伴い共同通信社から「知的障害のある人の恋愛・結婚・子育てについて」のアンケート調査の依頼があり協力しました。
- ② 全育連の久保会長が、「成年後見制度の在り方検討会」（法務省主催）の委員をされています。会員アンケート結果による、使いやすい成年後見制度づくり（成年後見制度のスポット利用や、成年保護特別代理人制度等）に向けて議論がすすんでいます。

奈良県障害福祉課 新しい条例

福祉の奈良モデルとして、仮称「奈良県障害のある人及びその家族等に生涯にわたりつながり続ける障害福祉の推進に関する条例」が作成され、意見公募がすみ、2月に定例県議会に上程され、令和5年4月1日から施行となります。

第54回奈良県特別支援教育研究会・研究大会（2月6日）に行ってきました。

3年ぶりに来賓として出席し、式典後、大六一志氏（公認心理師）によるウエクスラー式知能検査（WISC-V）の講演を拝聴しました。この知能検査は、全体の知能と4つの指標（言語理解・知覚推理・ワーキングメモリー・処理速度）があり、発達のバラツキの有無、得意な部分と苦手な部分を知る事ができるそうです。検査体制整備や指標の分析には専門職が必要ですが、多くの特別支援の先生方々の学びの場となり、今後の実践に期待いたします。

行動分析学による幼稚園

障害者権利条約の対日審査、インクルーシブ教育の推進中、TVのドキュメンタリー番組で、日本初の行動分析学による共生の幼稚園「学校法人西軽井沢学園サムエル幼稚園」の存在を知りました。ギフトド支援も含め、個別最適化への学習。教育の部門でも多様性を認めた共生社会の実現へのうねりだと思えます。

2023年2月18日：記